

協議事項31

小規模校対策について

小規模校対策として本多聞小学校と多聞南小学校の統合に向けた取り組みについて、協議事項として以下のとおり提案する。

平成30年12月21日提出

神戸市教育委員会

教育長 長 田 淳

1. 取組内容

別紙のとおり

本多聞小学校・多聞南小学校の統合に向けた取り組みについて

1. 説明会の実施状況

- (1) 平成 30 年 12 月 15 日 (土) 多聞南小学校 (体育館) 参加人数 : 86 世帯 (100 人)
- (2) 平成 30 年 12 月 16 日 (日) 本多聞小学校 (体育館) 参加人数 : 96 世帯 (111 人)
- (3) 平成 30 年 12 月 19 日 (水) 本多聞小学校 (ふれあいホール) 参加人数 : 28 世帯 (30 人)

2. 説明会での主な意見

《統合に関するもの》

- ・統合には賛成である。
- ・統合は理解できるが多聞南小に通学しながら改修工事はできないのか。
- ・統合先が多聞南小になると通学距離が 1 km 以上になる。統合先を本多聞小にできないのか。
- ・統合に伴う通学路の安全対策についてどう考えているのか。
- ・統合先が多聞南小になると 20 分はかかるので反対である。

《学が丘 1 丁目の校区変更に関するもの》

- ・多聞東小への校区変更にあたり、引き続き統合校に通学できるのか。
- ・来年、多聞南小に入学するが、校区変更前に多聞東小に行くことはできないのか。
- ・今 1 年生だが、校区変更するなら来年から多聞東小に通学することはできないのか。
- ・(学が丘 1 丁目の) 少人数だけが別の中学校に進学している現状を改善するためにする校区変更だが、(校区変更後も統合校に就学する) 在校生には恩恵がない。小学校区を変えるのではなく中学校区を変えてほしい。それができないなら (学が丘 1 丁目以外の) 他の児童と同じ本多聞中学校に進学できるようにしてほしい。

3. 学が丘 1 丁目 (校区変更) の要望対応について

[要望内容] ①多聞南小 (統合校) で卒業する児童は、希望すれば本多聞中に進学できるようにしてほしい。

②校区変更するのであれば、平成 33 年 4 月の校区変更前に多聞東小に通学したい。

[対応(案)] ①多聞南小 (統合校) で卒業する児童は、希望すれば本多聞中学校に進学できるよう指定外通学を認める。

②平成 31・32 年度入学者・在校生は、希望すれば多聞東小学校に就学できるよう指定外通学を認める。

(参考)

学が丘 1 丁目の幼児・児童数

平成 30 年 5 月 1 日現在

0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生
4	1	2	7	4	4	4	6	4	4	4	4

本多聞小学校・多聞南小学校の教育環境の改善について

1. 事業概要

本多聞小学校及び多聞南小学校は、児童数の減少により小規模化が進行しており、本多聞小学校は平成 32 年度頃、多聞南小学校は平成 34 年度頃にすべての学年が単学級になる見込みである。

小規模校は、集団による学習効果が出にくい、クラス替えができず人間関係が固定化しやすいなどの課題があり、地域団体からも本多聞小学校と多聞南小学校の統合等に関する要望が出されている。

これらの状況を踏まえ、両校の教育環境の向上・学校規模の適正化を図るため、統合再編を行う。

2. 児童数・学級（推計）

小学校名		H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36
本多聞	児童数	213 (211+2)	210 (208+2)	192 (190+2)	189 (187+2)	175 (173+2)	172 (170+2)	165 (163+2)
	学級数	9 (8+1)	9 (8+1)	7 (6+1)	7 (6+1)	7 (6+1)	7 (6+1)	7 (6+1)
多聞南	児童数	233 (229+4)	212 (208+4)	197 (193+4)	177 (173+4)	169 (165+4)	150 (146+4)	140 (136+4)
	学級数	12 (10+2)	11 (9+2)	10 (8+2)	9 (7+2)	8 (6+2)	8 (6+2)	8 (6+2)
統合校	児童数	—	—	—	366 (360+6)	344 (338+6)	322 (316+6)	305 (299+6)
	学級数	—	—	—	14 (12+2)	14 (12+2)	14 (12+2)	14 (12+2)

※平成30年 5 月 1 日現在

※+数字は特別支援学級。平成31年度以降は平成30年度と同数を見込む

3. 対象校の概要

【本多聞小学校】

- ・昭和 53 年 4 月、多聞東小学校から分離・創立
- ・校地面積 15,000 m²（グラウンド面積：約 5,300 m²）、建築年 S53～S63、延床面積 5,525 m²

【多聞南小学校】

- ・昭和 49 年 4 月、多聞台小学校から分離・創立
- ・校地面積 15,000 m²（グラウンド面積：約 6,900 m²）、建築年 S48～S49、延床面積 5,100 m²

4. 事業計画（案）

- (1) 本多聞小学校・多聞南小学校を、平成 33 年 4 月に本多聞小学校の校地を活用し統合する。
- (2) 多聞南小学校の校舎改修後、平成 34 年度内を目途に移転する。
- (3) 多聞南小学校区のうち学が丘 1 丁目を、多聞東小学校区とする。（平成 33 年 4 月 1 日実施）
- (4) 本多聞小学校のグラウンドを、本多聞中学校の第 2 グラウンドとして活用する。

5. スケジュール（案）

	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度
[統合] 本多聞小 多聞南小	統合計画策定	基本設計	実施設計	(旧)多聞南小学校舎改修工事 → 新校舎移転(通学)		
	保護者・地域意見交換		統合推進委員会 交流事業	○統合 (本多聞小通学)		
			本多聞小グラウンド：本多聞中 暫定利用			第2グラウンド 供用開始

校区図



- 小学校区
- ⋯⋯ 中学校区